

# 破壊的な変革の中で成功するための財務を再構築

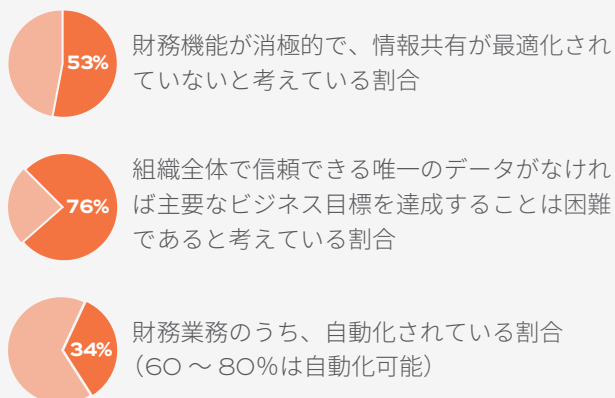
今、多くの企業は競争の激化に直面しています。破壊的なビジネスモデルの変革やデジタルネイティブ企業が市場シェアを奪い、従来型の企業は迅速な対応を迫られるか、あるいは時代遅れになるかを迫られています。混乱はビジネスの成長を促進する機会を提供します。それはたとえば、新しい収益源、新しい市場へのアクセス、製品・サービスとチャネルの多様化によるレジリエンスですが、企業は、収益性を維持し、コストを最適化しながら、方向転換して、新しい機能を大規模に構築する方法もつける必要があります。

成長と競争を望む企業は、デジタル変革を実現するために、全社的に財務の可視性と柔軟性を必要とします。多くの企業にとって、これは、従来の確立された、変化の遅い財務機能が提供できる範囲をはるかに超えるものです。

## 未来志向の企業を構築するための財務の再構築

企業全体で財務の可視化を実現するための苦労は、今に始まったことではありません。長年にわたり、企業にとって課題となっていますが、コストや複雑さのために後回しにされることがよくありました。

### 財務部門に対する意思決定者の声：



Accenture - [The CFO Reimagined](#)

その結果、財務部門はデータの収集と調整にほとんどの時間を費やすことになり、消極的になってしまいます。しかし、破壊的な変革は、今後発生する課題に対応するために、現状を迅速に変更することを求めています。

- 取締役会、投資家、利害関係者に対する四半期および年次報告の変更に対応ビジネスモデルの変化は、数十年にわたって安定していた財務モデルや主要業績評価指標 (KPI) に影響を及ぼしています。適応するために、財務は遅延指標から、リアルタイムでビジネスを追跡する先行デジタル KPI に移行する必要があります。
- 進化するコンプライアンスと規制当局の報告ニーズに対応規制環境の変化により、データを照合し、静的なレポートを作成する時間集約的な手動プロセスは、監査可能で追跡可能、かつソースまで遡って照合可能な信頼できるデータを用いた自動化に置き換わることが要求されています。
- 会計業務を新しいルールに適応データのサンプリングに依存して不整合やエラーを特定する監査プロセスは、より高度なレベルでのリスク管理を迫られています。数百万件の取引を迅速に分析し、異常やリスクの高い取引を特定できる拡張性のある監査技術が必要とされています。
- 後方報告から予測機能およびシナリオプランニングへの移行四半期ごと、年ごとといったタイムリーでない後方報告から、予測、予報、シナリオ・プランニングといった将来を見据えた洞察への移行が求められています。
- 製品や顧客に関する賢明な判断を可能にする多角的な収益性の分析競争、新しいチャネル、デジタル製品やサービスに対応するための賢明な意思決定には、顧客や製品の SKU レベルでの多次元収益性を含む、より細かいビジネスのコントロールが必要です。
- コストセンターから戦略的ビジネスパートナーへの移行現代の財務部門は、過剰な作業負荷や手動プロセス、ソースデータの信頼性に邪魔されることなく、データを活用して企業全体の価値を向上させ、信頼できるビジネスアドバイザーとしての役割を果たすために適応していく必要があります。

## 財務データの基盤がより多くの情報に基づいた意思決定を促進

破壊的な変革の中で成功し、繁栄するために必要なデータとインテリジェンスを提供するために、財務は過去の財務モデル、プロセス、レポート、および役割を超えて進化する方法を見つける必要があります。そのためには、財務が根本的なレベルで業務方法を変更する必要があります。

財務データの基盤を構築することで、組織は以下のことを実現できます。

- より迅速かつ正確な洞察により、洞察までの時間を短縮し、俊敏なビジネス運営を実現
- 組織パフォーマンスの全体像を把握した上で、より優れた予測能力を提供することにより、ビジネスプロセスを加速
- 業務データをきめ細かく活用することで、組織をより深く、多面的に把握
- 自動化により手動分析やエラーを削減し、複数のユーザーが既存の作業を迅速かつ正確に利用
- 新しい製品ラインやサービスの影響を予測し、ビジネスへの潜在的な影響を把握した上で、自信を持って発表
- 将来のビジネス上の意思決定を強化する ML および AI アプリケーションのために設計された環境を構築

## テラデータは、組織全体の財務の可視性を強化します。

Teradata Vantage データプラットフォームとアクセラレータは、複数のソースからのデータを単一のビューに統合し、要約から細部に至るまで統合された財務データ基盤を提供するための早道を提供することができます。これにより、監査可能、追跡可能、ソースに戻って照合可能な、反復可能かつ再利用可能な分析が実現し、企業の全体像を把握できます。

テラデータは、企業に以下のことを可能に：

- Oracle、PeopleSoft、SAP などの財務システム間でデータを迅速に統合し、Teradata Vantage™ データプラットフォームと構築済みのコネクタおよびアクセラレータを使って、ほぼリアルタイムで直接接続および統合
- データを受信して構造化し、制御されたユーザーフレンドリーなアクセスを可能にする、あらかじめ構築された財務データモデルを活用
- 財務以外のレガシーシステムのマッピングを迅速に行い、企業の全体像を 360 度把握
- データアナリスト、データサイエンティスト、AI 開発者が、データおよび分析ツールの豊富なエコシステムとパートナー統合することにより、多次元収益性モデルを含む大量のデータに対して分析モデルを大規模に構築および実行
- 多種多様な異なるソースからのデータを、組織全体でアクセス可能な信頼性の高いコンプライアンスプラットフォームに再統合

### 導入事例：財務データ基盤により、組織の変革を推進

#### 課題

多国籍銀行・金融サービス会社は、大幅な成長を遂げ、レポートおよび規制コンプライアンスのためのさまざまな金融システムと静的データリポジトリが普及しました。一方、各国の規制当局はより厳しくなっていました。

#### ソリューション

テラデータは、さまざまなソースのデータを調整する財務データ基盤を作り上げました。

- 5 日ワークフローの自動化で短縮した月末業績を出すために必要な日数
- 8,000 万 60 分で 600 のソースから照合する取引データポイント数
- 100%すべての事業部門の 10 億を超えるトランザクションの会計データのをカバー率

## テラデータについて

テラデータは、コネクテッド・マルチクラウド・データプラットフォームを提供する企業です。テラデータのエンタープライズアナリティクスは、あらゆるビジネス上の課題を解決します。現在の、そして将来の大規模な混合データワークロードを処理できる柔軟性を提供できるのは、テラデータだけです。

詳しくは、[Teradata.jp](http://Teradata.jp) をご覧ください。

17095 Via Del Campo, San Diego, CA 92127 [Teradata.jp](http://Teradata.jp)

Teradata ロゴは商標であり、Teradata は米国および全世界における Teradata Corporation および / またはその関連会社の登録商標です。テラデータは、新しいテクノロジーやコンポーネントの登場に合わせて製品を改善し続けています。そのため、テラデータは、各種仕様を事前の通知なく変更できる権利を持つものとします。地域や市場によっては、本書に記載されている機能、仕様、動作の一部を利用できない場合があります。詳細については、テラデータの営業担当者、または [www.teradata.jp](http://www.teradata.jp) よりお問い合わせください。

© 2022 Teradata Corporation All Rights Reserved. Produced in U.S.A. 04.22



**teradata.**